



①題：「イエスの誕生」(31分)

111217

説教者 : 花田憲彦
聖書朗読 : ルカの福音書 1 : 34 ~ 38
瞑想の言葉 : 『初代文集』 152頁

「厚い黒雲が心を閉ざすように思われるそのときに、生きた信仰によって、暗黒をつらぬき、雲を散らさなければならぬ。真の信仰は、神のみ言葉の中に含まれた約束に基づいて、そのみ言葉に従う者だけが、その輝かしい約束を自分のものにする事ができる。」

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 425番

②題：「幸も不幸もかみしめて」(30分)

111112

説教者 : 藤田正孝
聖書朗読 : ローマ 8 : 28
瞑想の言葉 : ジャン・バニエ

「愛するとは、その人の存在を喜ぶことです。その人の隠れた価値や美しさを、気づかせてあげることです。その人に向かって、「あなたが生きていることは素晴らしい。私はあなたが生きていて幸せです。あなたの存在を喜んでます。あなたは大切な、価値ある人です」ということを伝えることです。人は愛されて初めて、愛されるにふさわしいものになります。そして何かができるようになります。積極的になります。愛されることによって、人はこの世界で何かを果たすことができるのです。」

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 327番

③題：「神と共に歩む」(32分)

110212

説教者 : 吉村忍
聖書朗読 : 創世記 5 : 21 ~ 24
瞑想の言葉 : 『人類のあけぼの』 上巻, 80 ~ 82

「エノクは、そうした初期の時代に、神を愛し、おそれ、神の戒めを守った。…エノクが神と共に歩んだのは恍惚状態や幻を見るようなものではなくて、日常のすべての務めを果たすことにおいてであった。…彼は絶えず天との交わりを保って、神の偉大さと完全さを常に実感していたので誰よりも謙遜であった。彼は神とのつながりが親密になればなるほど、自分の弱さと不完全さを深く感じた。…彼にとって祈りは魂の呼吸であった。…エノクは義の説教者になって、神がお示しになったことを人に伝えた。」

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 120番

◆お知らせ

この礼拝プログラム DVD は、ホープビジョン (SDA 映像配信システム) によって放送されたものを録画したものです。ホープビジョンを各教会、集会所等に導入することにより、安息日の礼拝を同時中継でご覧になることができます。同時中継は現在、神戸有野台教会、天沼教会から配信されています。また礼拝中継の他にも、ホープチャンネル、各種講演会、講習会、伝道用教材ビデオなども常時ご覧いただけます。ホープビジョンについての詳しい情報は、教団・アドベンチスト・メディアセンターまでお問い合わせください。